

伝統文化親子教室事業

(25年度予算額 935百万円)
26年度予定額 1,200百万円

- 文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）（平成23年2月閣議決定）
幼い子供から若者までを対象とし、**伝統文化や文化財に親しむ機会を充実**
- 第2期教育振興基本計画（平成25年6月閣議決定）
文化芸術団体との連携・協力を図りつつ**子供たちが地域の伝統文化に触れる機会を提供**する取組への支援
- 経済財政運営と改革の基本方針（平成25年6月閣議決定）
文化芸術立国を目指し、国として、**子供の文化芸術体験機会の確保**など文化芸術を振興

事業概要

目的：次代を担う子供たちに対して、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化に関する活動を、計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供することにより、我が国の歴史と伝統の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた伝統文化を将来にわたって確実に継承し、発展させるとともに、子供たちの豊かな人間性を涵養することを目的とする。

参加対象：地域に在住する親子等（子供のみが対象の教室も可）

実施主体：伝統文化に関する活動を行う団体（伝統文化関係団体）等

実施分野：民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊のほか、茶道、華道などの生活文化も対象

補助金額：予算の範囲内において定額

対象経費：指導者等への謝金・旅費、会場・用具の借料、教材費等

実施方法：文化庁から、全国の伝統文化関係団体を対象に募集を行い、有識者の審査を経て実施団体を決定
「放課後子供教室」と連携した体験機会を提供



子供屋台囃子教室



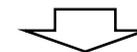
みまや焼き教室



着装・礼法教室

＜支援教室数＞

平成25年度
3,400教室



平成26年度
4,000教室程度

1. 科学技術イノベーション・システムの構築

平成26年度予定額 : 39,018百万円
(平成25年度予算額 : 41,925百万円)
※復興特別会計に別途3,809百万円(4,663百万円)計上
※運営費交付金中の推計額含む

【平成25年度補正予算案 : 55,469百万円】

概要

地域資源等も活用しつつ、大学や産業界等が集い、革新的研究開発課題を設定し、既存分野・組織の壁を取り払い、企業だけでは実現できない革新的なイノベーションを産学連携で実現するとともに、停滞してしまった地域発のイノベーション創出を推進するシステムを構築する。また、民間の事業化ノウハウを活用した大学等発ベンチャー創出の取組等を推進する。

○産学連携による国際科学イノベーション拠点(COI)の構築

平成26年度予定額 : 17,122百万円 (平成25年度予算額 : 16,221百万円)

・センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

10年後、どのように「人が変わるべき」か、「社会が変わるべき」か、その目指すべき社会像を見据えたビジョンの実現へ向けて、既存採択拠点を充実・加速させるとともに、革新的なイノベーション創出や、地域資源を活用したイノベーション創出等に向けたチャレンジング・ハイリスクな研究開発拠点を新たに構築する。

・研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)(うちCOI分)

センター・オブ・イノベーション(COI)と連携し、社会的課題に対応した課題を推進。また、優れた研究成果をピックアップするとともに、COIからスピナウトする成果を切れ目無く事業化につなぐ。

・大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業

センター・オブ・イノベーション(COI)を構成する研究プロジェクト戦略等の策定・運営を統括し、COI拠点における戦略的研究開発と非顕在シーズ・ニーズのマッチング等を一体的に運営する等により、大学等発イノベーション創出強化を図る。

・PBLを中心としたイノベーション創出人材の育成【新規】※

海外の大学や企業等と連携しつつ、イノベーション創出人材の育成プログラムを開発・実施する大学等を支援する。

※「3. 科学技術を担う人材の育成」と重複

・地域イノベーション戦略支援プログラム

我が国の科学技術の多様化、地域経済の発展を目指し、地域イノベーションの創出に向けた地域主導の優れた構想を、関係府省の施策と連携して効果的に支援する。

○大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)

平成26年度予定額 : 2,454百万円 (平成25年度予算額 : 2,032百万円)

発明の段階から、ベンチャーキャピタル等の民間の事業化ノウハウを活用しつつ、大学等の革新的技術の研究開発支援と事業育成を一体的に実施し、グローバル市場を目指す大学等発ベンチャーの創出を図る。